

令和8年2月定例会 教育長報告

◆ 2月の主な活動

- 2日 教育委員会定例会（清水庁舎）〔教育長・委員〕
- 6日 全国小学校キャリア教育研究協議会静岡市大会（中田小学校）〔教育長〕
- 13日 SSH研究成果発表会（静岡市立高等学校）〔教育長〕
- 18日 教育委員会臨時会（清水庁舎）〔教育長・委員〕
- 23日 第78回静岡県書きぞめ展清水地区展表彰式（マリナート）〔教育長〕
- 24日 教育長定例記者会見（静岡庁舎）〔教育長〕

◆ 3月の主な予定

- 1日 しずおか教師塾第17期卒塾式（ふれあいホール）〔教育長〕
- 11日 教育委員会臨時会（清水庁舎）〔教育長・委員〕
- 14日 静岡大学教育学部創基150周年記念式典（グランシップ）〔教育長〕
- 15日 第13回親守詩静岡県大会（日本平ホテル）〔教育長〕
- 16日 第5回県立高等学校の在り方に係る地域協議会（県庁）〔教育長〕
- 19日 蒲原東小学校閉校式（蒲原東小学校）〔教育長〕
蒲原西小学校閉校式（蒲原西小学校）〔教育長〕
- 20日 梅ヶ島小中学校閉校式（梅ヶ島小中学校）〔教育長〕
- 22日 由比北小学校閉校式（由比北小学校）〔教育長〕
- 24日 教育委員会定例会（清水庁舎）〔教育長・委員〕

議案第 2 8 号

令和 8 年度当初予算案について

令和 8 年度当初予算案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定により、教育委員会の意見を聴取する。

令和 8 年 2 月 2 日提出

静岡市長 難 波 喬 司

（教育委員会事務局教育局教育総務課）

記

- 1 当初予算の概要 別紙「令和 8 年度当初予算の概要」のとおり

教育局 令和8年度当初予算の概要 R8当初：48,870,863千円（R7当初：50,267,670千円）

【増減】▲1,396,810千円

【主な増減要因】
 人件費：定年引上げによる退職見込者数の増+8.6億円
 給与改定、法改正等に伴う増+16.5億円
 施設管理：蒲原小中一貫校整備の終了▲35億円

目標：一人ひとりのやってみたいが広がる学校 こどもまんなか ～一人ひとりが輝く学び～

○主体的に考え自己決定できる力 ○「想像力」や「課題解決能力」を持ち変化に柔軟に適應できる力 ○多様な他者と合意形成し、協働できる力 ○自己をよく理解し、自分の強みを生かせる力

- 政策1 すべてのこどもの学びの充実 … こどもたちが、それぞれに最も適した学びに向かい多様な仲間と関わりながら探究できる
 政策2 教職員の専門性の向上と発揮 … 教職員が本来担うべき業務に専念し、質の高い教育が提供できる
 政策3 こどもが安心して学べる環境づくり … こどもたちが安心できる環境で、生き生きと学びに取り組むことができる

令和8年度の主な取組 ※（ ）は令和7年度当初予算額。下線は2月補正予算額を含む。

政策1 すべてのこどもの学びの充実

(1) こどもが主体となり学習を進める環境の整備

- ①【**拡充**】学習支援ツールの機能拡充 98,000千円（ 32,900千円）
 こどもの学習履歴をデータ化し分析する機能を導入することで、こども一人ひとりの課題や理解度を可視化し、全ての教員が客観的な分析データに基づきながら授業づくりができるようにする。これにより、「個別最適な学び」を提供できるようになる。
 ②【**継続**】教育ネットワークに係る通信事業 39,398千円（ 29,378千円）

(2) 多様化が顕著となるこどもたちへの対応

- ①【**新規**】外部専門家の訪問指導による通級指導の充実 2,760千円（ 0千円）
 言語障害や肢体不自由等により特別な支援を必要とするこどもが、自分の体や状態に引き合い、前向きに改善やメンテナンスに取り組めるよう、言語聴覚士や理学療法士を活用して通級指導教室の充実を図る。
 ②【**継続**】特別支援教育支援員の配置 261,753千円（239,668千円）
 ③【**継続**】外国人児童生徒等支援事業 13,894千円（ 19,472千円）
 ④【**継続**】医療的ケア看護職員の配置 27,816千円（ 43,049千円）

(3) 安心して過ごすことのできる場づくり

- ①【**拡充**】教育相談員活用事業 60,497千円（ 31,669千円）
 不登校状態または不登校傾向の児童生徒や在籍クラスに入ることが難しい児童生徒が自分のペースで学習や生活を継続できる場としての校内サポートルームにおいて、こども達の見守りや相談に対応する教育相談員を拡充して配置する。
 （現在）中学校35校、小学校22校 →（令和8年度）中学校36校、小学校65校、小中学校5校
 来年度は全小中学校に校内サポートルームを設置し、教室に入りづらいこどもをサポートできるような環境を整える。
 ②【**継続**】スクールカウンセラーの設置 82,626千円（ 82,626千円）
 ③【**継続**】スクールソーシャルワーカーの配置 28,318千円（ 28,318千円）
 ④【**継続**】医療的ケア看護職員の配置（再掲） 27,816千円（ 43,049千円）

政策3 こどもが安心して学べる環境づくり

(1) 安全に成長できる施設、環境

- ①【**新規**】児童生徒の通学支援 39,823千円（ 0千円）
 学校統合に伴い既存の公共交通機関の利用だけでは通学が困難となる蒲原地区、由比地区の児童生徒の通学を支援するため、スクールバスの運行を行う。
 ②【**新規**】小中学校体育館空調設備整備事業 48,900千円（ 0千円）
 熱中症等のリスクから児童生徒の健康を守り、学習環境を改善するとともに災害時の避難所環境を改善するため、空調設備を整備する。来年度は、令和7年9月補正予算にて実施するモデル校3校の効果検証と、小学校13校・中学校3校の設計を行う。
 ③【**新規**】小中学校危険樹木伐採等事業 40,000千円（ 0千円）
 調査の結果、特に倒木等の危険があり早急に対応するべきと判断された樹木の伐採・剪定を行う。

政策2 教職員の専門性の向上と発揮

(1) 欠員を生まない仕組みづくりや校務の改善

- ①【**拡充**】非常勤養護教諭の配置 8,542千円（ 6,175千円）
 熱中症対策や、保健室登校・アレルギー疾患を持つ児童生徒の増加など、養護教諭の業務は複雑かつ多忙化し、児童生徒一人ひとりに向き合う時間や余裕を確保することが困難な状況となっているため、勤務経験を有する養護教諭を大規模校及び未広中学校分教室に配置することで、よりきめ細やかな支援を実施する。
 ②【**新規**】コミュニケーションツールの導入 10,298千円（ 0千円）
 保護者との連絡手段として、全市立小中学校で統一的に有償版ツールを導入する（保護者との個別連絡、教育委員会から保護者への一斉配信等が可能）。これにより、出欠席連絡や緊急時の情報共有の迅速化、電話の待ち時間の削減など教職員の負担軽減になり、こどもと向き合う時間の増加に繋げる。
 ③【**新規**】「静岡市で拓く、教職の未来」教職へのナビゲーション事業 3,370千円（ 0千円）
 教員採用候補者が教員生活を安心してスタートできるよう採用前に学校現場で教員業務の補助を行う「教職ブレイク」、潜在教員の不安を解消し講師登録者を増やすための「教職説明会」、教職の魅力を広く発信することで将来の志望者を増やすための「教職魅力発見セミナー」などを行う。
 ④【**継続**】欠員未補充の解消 25,000千円（ 25,000千円）
 教職員定数外の臨時講師を4月当初から任用し、人材確保が困難な年度当初及び年度途中の欠員未補充を解消する。

(2) 学校組織全体で対応する仕組みづくり

- ①【**新規**】フレキシブル担任制の導入 20,000千円（ 0千円）
 法定数により教務主任以外の級外教員が配置されない8～9学級の小学校に1人の級外教員（臨時講師）を配置することで、市内全校においてフレキシブル担任制ができる環境を整える。
 ②【**拡充**】スクールロイヤー活用事業 594千円（ 594千円）
 学校で発生した様々な問題に対し、法律に基づいた助言や指導を行う。来年度からは、学校事業を主に担当する顧問弁護士を政策法務課で新たに配置し、保護者との面談に同席する等、学校及び事務局からの相談受付体制を強化する。

- ④【**継続**】小中学校校舎トイレリフレッシュ事業 1,449,733千円（1,419,690千円）
 ⑤【**継続**】小学校特別教室空調設備整備事業 1,271,700千円（ 717,200千円）
 ⑥【**継続**】藁科地域小中一貫校整備事業 364,355千円（ 281,866千円）
 ⑦【**継続**】由比地区小中一貫校整備事業 289,369千円（ 8,700千円）

(2) 地域の大人に見守られ成長できる仕組み

- ①【**継続**】地域学校協働活動の推進 110,258千円（ 118,800千円）

(3) 学校と諸機関、民間施設との連携

- ①【**継続**】有機・規格外農作物の学校給食活用事業 7,300千円（ 7,300千円）